



概要

ETCnomad は PC あるいは Mac 上で動作するフル機能を備えた照明コントロールアプリケーションです。一般照明やムービングライト、メディアサーバー、LED 灯体のコントロールが可能です。

ETCnomad は EOS ソフトウェアと組み合わせて、プライマリ、バックアップ、クライアント、あるいはオフラインで利用可能です。DMX を出力し、実際に灯体をコントロールするためには ETCnomad ドングルを接続してください。

クライアントとして接続した場合、ETCnomad から接続先のシステムのすべての機能を利用できます。ドングルが接続されていない場合はオフラインモードのみの利用となり、DMX は出力できません。

機能

- 1024 あるいは 6144 のアウトプット
- スタンドアローン、プライマリ/バックアップ、あるいはクライアントとして利用可能
- クライアントとしてシステムに接続した場合、接続先のシステムの出力数
- sACN、Art-Net などのプロトコルに対応
- ETC Gadget あるいは Gadget2 との組み合わせで DMX/RDM に対応
- Net3 DMX/RDM ゲートウェイとの組み合わせで DMX/RDM に対応
- OSC の送受信
- UDP の送受信
- 日本語に対応したユーザーインターフェイス

その他の機能については EOS や Element のデータシートやマニュアルもご参照ください。

型番	品名
ETC-NOMAD-Base	Nomad Eos ドングル 1024 アウトプット
ETC-NOMAD-6144	Nomad Eos ドングル 6144 アウトプット
ETC-Gadget2	DMX/RDM 設定ツール

ご注文にあたっての注意事項

1 つの Gadget や Gadget2 を使用した場合、出力されるのは 1 ユニバースのみとなります。Gadget は合計 4 つまで接続可能です。その他のユニバースは sACN や Art-Net などのプロトコルを通じて利用可能です。Gadget やゲートウェイは ETCnomad とは別にお買い求めください。

※ ETCnomad は ETCNet2/EDMX プロトコルには対応しません。

※ EOS ソフトウェアのバージョンが 2.8 以下の場合、1024 アウトプットのドングルで利用できるのは 512 アウトプットまでとなります。1024 アウトプットを利用するにはバージョン 2.9 以上をご利用ください。

最小ハードウェア要件

Windows での最小ハードウェア要件

- クロック周波数 2.0GHz 以上 (6144 アウトプットでは 2.5GHz 以上) でインテルベースのマルチコアプロセッサ
- Windows7 以降の OS と 500MB 以上の空き容量
- 1280 × 1024 以上の解像度のディスプレイ
- 512MB 以上のメモリ (6144 アウトプットの場合は 4GB)
- 64MB 以上のビデオカード
- RJ-45 のイーサネットネットワークアダプタ (照明ネットワークと DMX 出力デバイスの利用に必要です)

Mac での最小ハードウェア要件

- クロック周波数 2.0GHz 以上 (6144 アウトプットでは 2.5GHz 以上) でインテルベースのマルチコアプロセッサ
- OS X Mojave 以降の OS と 500MB 以上の空き容量
- 1280 × 1024 以上の解像度のディスプレイ
- 512MB 以上のメモリ (6144 アウトプットの場合は 4GB)
- 64MB 以上のビデオカード
- RJ-45 のイーサネットネットワークアダプタ (照明ネットワークと DMX 出力デバイスの利用に必要です)